

● 2月15日（月）
● 総務文教常任委員会
● 調査件名
● 広野駅東側開発について
● JFAアカデミー福島への取り組みについて

報告

を報告します

総務文教
J F Aアカデミー福島
いよいよ福島で活動再開

令和3年4月からの福島での活動再開による経過、JFAアカデミー福島新中学1年生入校生選考試験結果、受入体制構築に係る工事等の状況、広野町サポーターファミリーの再開について説明がありました。
なお、コロナ禍の状況もあり、JFAから

令和3年度においてはサポーターファミリーに係るホームステイは実施を希望しない意向である旨、資料により報告を受けました。



Jヴィレッジで開かれた入校式

総務文教
広 野駅東側開発
魅力ある施策を

未来のかけ橋へのエレベータ設置およびJR東日本が委託施工する駅構内の跨線橋へのエレベータ設置工事の実施設計が完了し、現在はJR東日本と本工事の安全管理や工事委託する工事協定に向けて協議中との説明でした。

高等学術機関の誘致、研究機関等との連携・協議については、協定の締結は完了し、現在は協議および準備中との説明でした。

住宅地開発については、造成に適さない盛り土材の撤去が完了し、現在は開発許可申請の事務を進めているが、新型コロナウイルスの影響で造成工事が遅れ、令和3年度中の完成、令和4年度春の販売開始を念頭として補助金等の検討を進めていくとの説明でした。

委員からは、撤去した盛り土材から基準値を超えるフッ素が検出されたことが委員会で説明されていなかったことに抗議する意見が出され、処分方法等について質疑がありました。

また、販売する際は個人住宅として限定すること、町内に住む若年者も対象となる補助金や魅力ある施策の検討について意見や質疑がありました。

町からは、フッ素の問題については、対応を反省し今後は議会と問題を共有し、処分を実施する県の対応が確定した際には報告をするとのことでした。

販売に係る意見や質疑については、出された意見を参考に、人口増を目指して補助要綱の作成等を進めていくとの説明がありました。

委員会

各常任委員会の活動状況

● 2月16日（火）
● 産業厚生常任委員会
● 調査件名
● 農林業の振興について
● 新型コロナウイルス感染症対策について

産業厚生
農 林業振興
水源を守る森林整備を

委員からの農業振興に関する質疑に対して、町より、カメムシ防除については普及所や農協と連携し指導を行っていくこと、有機栽培支援の補助金については今後検討したいこと、農産物加工施設の運営及び使用料については3月から有償での貸出しを考えており、町の農業振興につながる場合には事業所への貸出しも考えていること、新規農業者への支援については町が研修機関となつて研修先を斡旋していきたくと考えていること、玉ねぎ産地計画の面積については南相馬から広野町まで約20haの計画で進められていること、人・農地プランの推進については、中間管理事業の活用により協力金等も得られるため町も積極的に関与し推進したいこと、新たな営農や作付け規模拡大等への支

援については4分の3の事業の制度が該当すること、効率的かつ安定的な農業経営を育成する農業構造については国や県が後継者および担い手づくりの制度をメインに進めているとの説明がありました。

林業振興については、森林環境譲与税の実績は総額約400万円であること、森林再生事業で出た伐採木材の収入及び伐採跡地の植林については、町有地から木材が出た場合には町の収入となり、植林等は水源を守り、森林を守るため今後事業を構築していくとの説明がありました。



森林整備で出た木材(上浅見川)

産業厚生
新 型コロナウイルス対策
ワクチン接種に向け万全に

各委員からの質疑に対して町より、低温冷蔵庫については補助金を活用して保健センターに設置し、ワクチン予防接種のスケジュールについては基礎疾患を有する方を約200人と想定して、*4月1日から開始できれば基礎疾患を有する方については、6月末までに1回目の接種は終了すると考えているが、国の指示に従いスケジュールを立てていくこと、土日祝日の予防接種についてはスタッフの確保が難しい医療機関もあるが改めて相談していくこと、接種後の経過観察を15分以上行うよう国からの通達もあることから、町民にも周知し医療機関に協力をいただく予定であること、ワクチン接種による健康被害が生じた場合については、予防接種法に基づき救済給付を行うこと、医療機関でのシミュレーションを町も参加して行いたいと考えていることなど説明がありました。

※現在調整中